

実証機関からワーキンググループ等への報告予定

平成 19 年度事業において、実証機関は表 1 の通り、ワーキンググループ等に進捗を報告する。資料作成にあたっては、WG 事務局より、各実証機関に資料作成依頼と資料作成の書式等を提示する。

各実証機関は、ここで作成した資料等を技術実証委員会資料として利用してよい。また、技術実証委員会で使用した資料を、下記の資料に利用してもよい。

表 1 各ワーキンググループ会合にむけた作成資料一覧

ワーキンググループ 会合	左記会合用資料として、 実証機関で作成する文書	備考
第 1 回 WG 会合 (5 月)	● 実証対象技術(案)の概要	● 技術の概要を確認
第 2 回 WG 会合 (6 月)	● 実証試験計画 骨子	● 試験の枠組み、調査項目、日程等を確認
事務局による 中間確認(11 月)	● 実証試験経過報告 ● 実証試験結果報告書概要版 1 次案	● 進捗、トラブル・課題等報告 ● 全実証機関で書式調整
第 3 回 WG 会合 (1 月)	● 実証試験結果報告書および概要版 最終案 ● (実証試験延長申請書)	● 表現等を確認・調整 ● (試験延長が必要な場合、申請)
第 4 回 WG 会合 (2 月)	(特になし)	
第 5 回 WG 会合 (3 月)	● (実証機関申請書) ● (予備日:実証試験結果報告書)	● (H20 年度実証機関を希望する場合) ● (必要に応じ)

表 2 WG に関する作業進行予定

時期	作業分担状況		
	WG開催	実証機関作業	WG事務局
5月	第1回WG	基本情報作成	技術概要 フォーム作成 資料作成
6月		基本情報作成	計画フォーム作成 概要版解説作成 資料作成
7月	第2回WG		
8月			
9月		実証試験結果報告書 概要版の構成 に関する検討	試験経過報告 フォーム作成
10月		試験経過資料作成	資料作成 (この期間実証機関 ヒアリング実施)
11月	事務局等による 一斉進捗確認	実証試験結果 報告書の検討	実証試験延長 申請フォーム作成
12月		概要版構成 に関する再検討 (延長申請書作成)	資料作成
1月	第3回WG		実証機関 申請フォーム作成
2月	第4回WG	(概要版検討： 第3回WG以降、大きな 修正を要する場合)	
3月	第5回WG	(実証機関 申請書作成)	